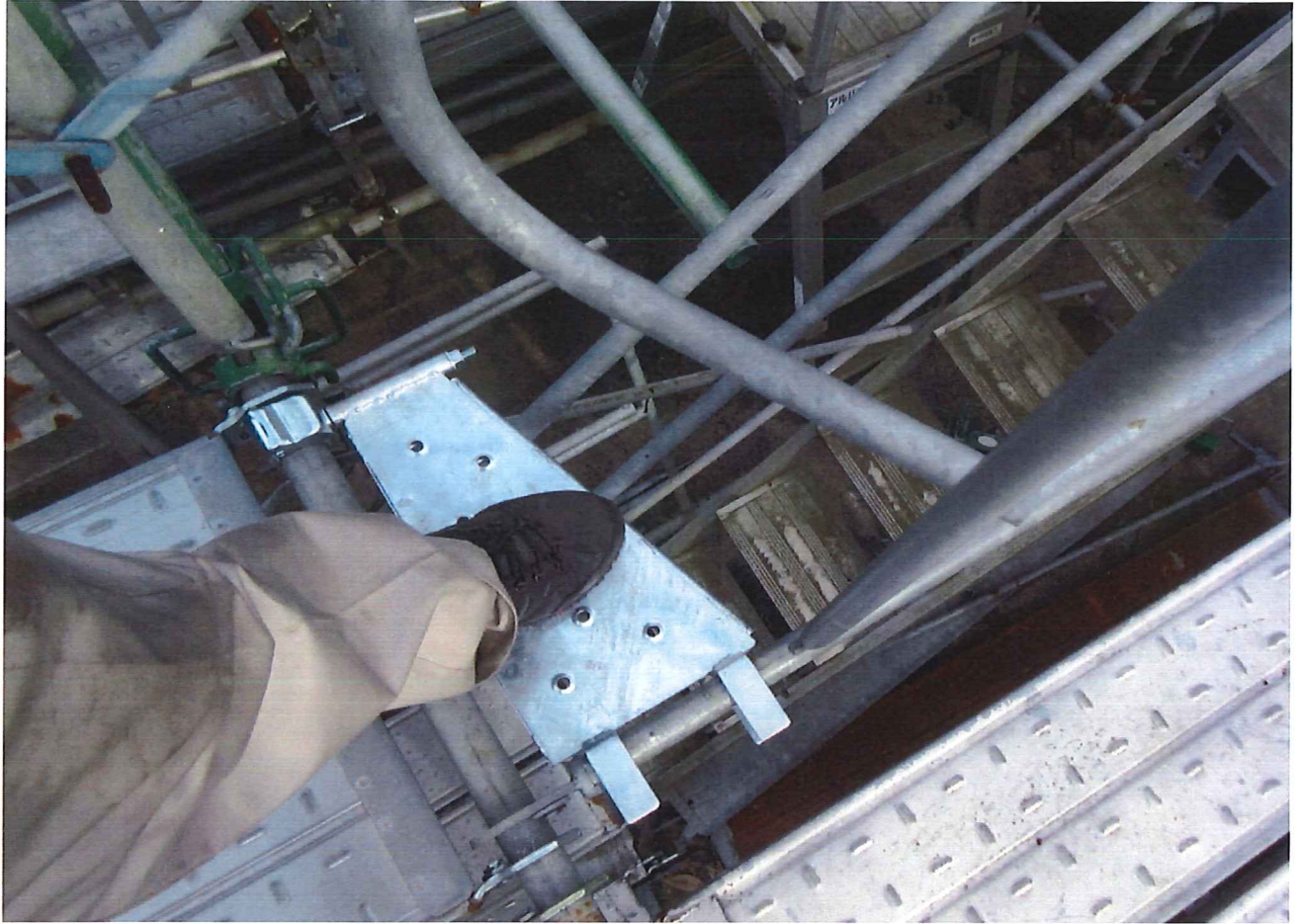


取付け簡単！階段開口部の塞ぎ板

PAT.

三角ステップ



SNT

株式会社 シンニッタ

開発経緯

枠組足場の階段開口部に設置する墜落防止用の手摺棒
（製品名：ステップガード）において実際に組み立てた場合、
三角上の隙間が発生し、安全性を損なう恐れがあります。
そこで、隙間を塞ぐ製品を考案しました。



取付前



取付後



取付クランプが自在の為、工具を使わずに左右どちらの開口にも対応します



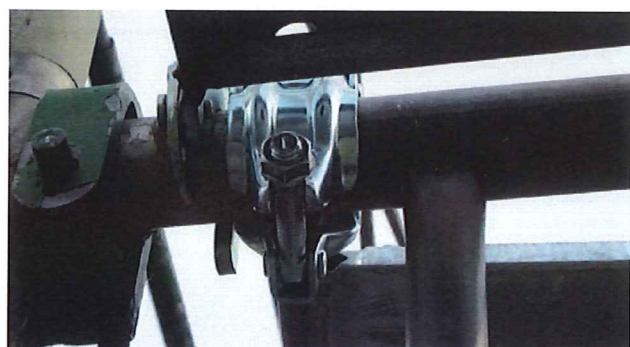
階段を下りるときに極力じゃまにならない形状ではありますが、万が一の場合に
備え、先端は丸い形状になっています。

組立手順

現場における取付け易さを徹底的に追及。
下から取付けられるようになっています。



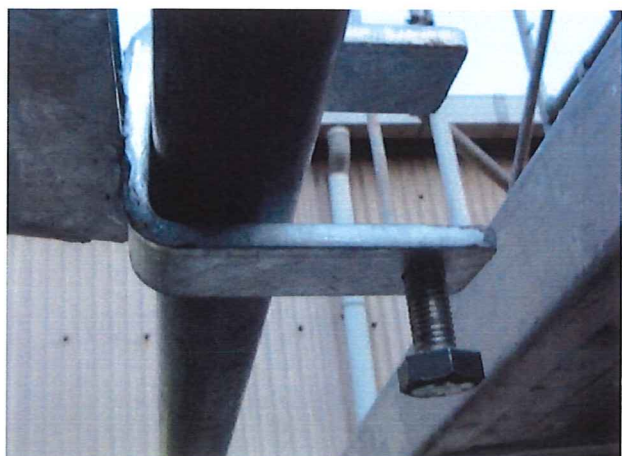
1. 爪をステップレールの棧に差し込む！注意 爪は棧に深く差し込むこと



2. クランプを建枠の横架材に上からかぶせる。このとき、クランプ位置は建枠の補剛材と布板の爪の間とする。



3 板の先端を軽く支え、クランプをインパクトレンチで締める



4. 最後に抜け止めのボルトを締めて終了。

勝手違いのときにはボルトが上に向きます。

注意！ 抜け止めボルトを締めずに作業を中断しないでください
危険！ クランプの固定だけでは、床が下に下がる事があります。

緒元

自重：2.k g

許容荷重：125k g

注意点

- 爪はステップレールの棧に深く差し込み、十分なかかり代を確保してください。（組立手順1.参照）
900枠(914幅、900幅)にご使用の場合、昇降階段の反対側に布板を寄せると爪のかかりが浅くなる場合があります。
- クランプを付ける位置に布板の爪がある場合、布板をずらしてください。
- 取り外し時、インパクトレンチで強くクランプのナットを緩めると、ナットの抜け止めが外れる場合があります（通常のクランプに同じ）。
- 抜け止めのボルトは必ず締めてください。
- 床板本体は、軽量化を図る為薄目の材料になっています。
材料をパレットに戻すとき、投げ込むと表面が凹むことがあります。